

中学校社会科 公民的分野学習指導案

1：単元名 主権国家と国際社会

2：単元の概略

日本の領土の北端はどこなのか確認し、領土の境界線をめぐる日本の主張と現状との違いを知った生徒たちが、北端である北方領土（択捉島）で暮らす人々の様子を調べる活動を通して、日本固有の領土にもかかわらず、ロシア人が住んでいる現実を知り、領土問題解決のために国際社会ではどのような取り組みをしているのか、知ることができる。

3：北方領土教育の視点（つけるべき力）

- 日本の北端は北方領土であるにもかかわらず、ロシア人が住んでいるという現実に気づく。
- 北方領土に住むロシア人はどのような生活をしているのか、資料から読み取ることができる、

4：単元展開の大要（全5時間）

- 第1時：主権国家と国際社会（本時）
- 第2時：地域主義の動き
- 第3時：国際連合のしくみとはたらき
- 第4時：新しい戦争－テロリズム、地域紛争－
- 第5時：世界の平和のために

5：本時の展開概要

主な学習内容と大まかな流れ ・予想される生徒の反応	指導上の留意点	使用資料
導入 ①北端に位置する島の名前を確認する。 ・これって、1年の時の地理でやったな。 ②日本は領土の境界線をめぐりどのような主張をしているのか調べ。合わせて現状を知る。	・領土、領空、領海、経済水域について復習する ・日本の主張をおさえ、合わせて現状を知る。	教科書（東京書籍）p154~155
展開 ③北方領土の島民の様子を撮影した写真を見て気がついたことを伝え合う。 ・車のナンバープレートが日本とは違うぞ。 ・写っている人の顔も日本人ぽくないな。 ④学習課題を決め出す。 学習問題1 日本の領土のはずなのに、北方領土にロシア人が住んでいるのはなぜだろう。	・気づいたことを自由にさせろ。 ・疑問点や意外だった発見をもとに学習課題を設定する。	資料1 資料2 学習カード

主権国家と国際社会

3年組 番 名前

<p>今日、学習すること：</p>

復習

- 1 教科書155ページを見て日本の北端にある島の名前を書き、地図帳を参考にして、その島が属する都道府県名を書こう。

方位	島の名前	その島が属する都道府県名
北端		

- 2 日本の北端の境界線をめぐって日本の主張と現状にはどのような違いがあるのだろう。

日本の主張	現 状

資料1 北方領土で走っている車



資料2 北方領土に住む人々

